OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	アーキピスト認証制度と大阪大学の取組
Author(s)	菅, 真城
Citation	全国大学史資料協議会西日本部会会報. 2024, 40, p. 11-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98279
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 1345－4455
2024年5月21日発行

全国大学史資料協議会

西日本部会会報 No.40

（通算 No.47）

Western Japan Section, Japan Association of College and University Archives

【第２回研究会（2023年７月18日（火）大阪大学）】

アーキビスト認証制度と大阪大学の取組

大阪大学ミュージアム・リンクス（アーカイブズ兼任）　教授　菅　真城

大阪大学の菅です。よろしくお願いします。本年７月１日付で４月にできたミュージアム・リンクスに配置換えとなり、アーカイブズは兼任しています。今日は、「アーキビスト認証制度と大阪大学の取組」というタイトルでお話しさせていただきます。よろしくお願いします。

大阪大学　菅　真成氏

はじめに　－司書・学芸員・アーキビスト－

司書は国家資格で、1950年に制定された図書館法で規定されています。学芸員も国家資格で、1951年に制定された博物館法で規定されています。それらに対して、アーキビストは国家資格ではなく、日本語訳もありません。公文書館法が制定されたのは1987年で、図書館法、博物館法に大きく遅れて制定されました。

公文書館法第４条には、「公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員を置くものとする。」とあり、この専門職員がアーキビストのことですが、附則第２項に「当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第四条第二項の専門職員を置かないことができる」とあり、長らくこのことが問題とされてきました。

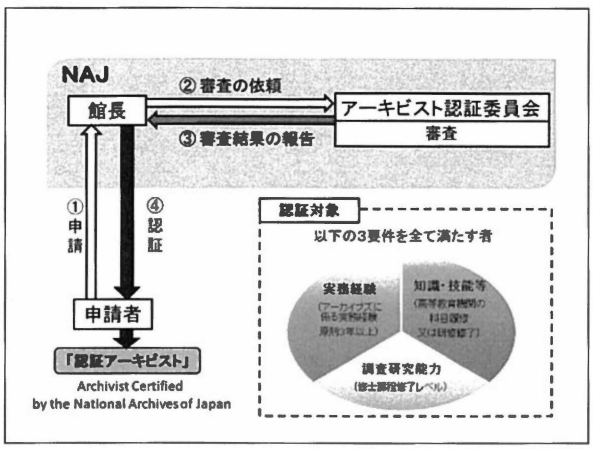
なお、2009年に制定された公文書管理法にはアーキビストについての規定がなく、公文書館法と公文書管理法の間に整合性はありません。

１．アーキビスト認証制度

アーキビスト認証制度を開始するに先立って、国立公文書館は2018年に〈アーキビストの職務基準書〉を策定しました。これは同館のウェブサイト（http://www.archives.go.jp/about/report/pdf/syokumukijunsyo.pdf）からダウンロードできます。本文および別表１～３で構成されています。アーキビストの職務としては、⑴評価選別・収集、⑵保存、⑶利用、⑷普及の４つに大分類されています。それを、さらに中分類９、小分類22に細分化しています。

アーキビスト認証制度については、国立公文書館のウェブサイトの「アーキビスト認証」のページ（https://www.archives.go.jp/ninsho/aboutCAJ/index.html）で詳細に解説されています。それをかいつまんでご説

明します。名称は、認証アーキビストで、英文では、Archivist Certified by the National Archives of Japanです。認証主体は、国立公文書館長です。認証要件として、「知識・技能等」「実務経験」「調査研究能力」の３つがあります。令和２年度に認証が開始され、５年更新制です。認証の手続きについては、次の図のとおりです。



出典：https://www.archives.go.jp/ninsho/aboutCAJ/index.html

認証要件は、アーキビストとして必要な知識・技能等について大学院修士課程における科目修得又は関係機関における研修修了によって体系的に修得している場合の１号申請と、体系的な教育の機会は得られていないものの、十分な実務経験と調査研究実績をもって同等と認められる場合の２号申請に分かれます。１号申請の場合、①知識・技能等は、高等教育機関（大学院修士課程）もしくは関係機関での研修の単位修得が６科目12単位、②実務経験が３年以上（２号申請は５年以上)、③調査研究能力が修士課程修了レベル＋アーカイブズに関する調査研究１本以上です。２号申請の詳細については、割愛します。

知識・技能等の内容を示したのが、次表です。

基礎科目	アーキビストの使命、倫理と基本姿勢の理解
	公文書等に係る基本法令の理解
	アーカイブズに関する基本的な理論及び方法論の理解
	資料保存に関する知識
	デジタル化・電子文書・情報システムに関する知識
専門科目群	公文書等の管理・保存・利用に関する知識
	所蔵資料及び目録に関する知識
	情報公開法令に関する知識
	アーカイブズ機関に関する知識
	保存修復及び保存科学に関する知識
	海外のアーカイブズに関する知識
	情報化・デジタル化等に関する知識
	職務遂行に必要とされる知識
	職務全体に係るマネジメント能力

単位は12単位を標準（研修は135時間）

この認証アーキビストとして必要な知識・技能等の内容が修得できる大学院や関係機関の研修は、次のとおりです。

大学院は、

令和２年度

・学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻

令和３年度

・大阪大学アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース
・島根大学大学院人間社会科学研究科認証アーキビスト養成プログラム

令和４年度

・昭和女子大学大学院生活機構研究科生活文化研究専攻アーキビスト養成プログラム
・東北大学大学院文学研究科認証アーキビスト養成コース

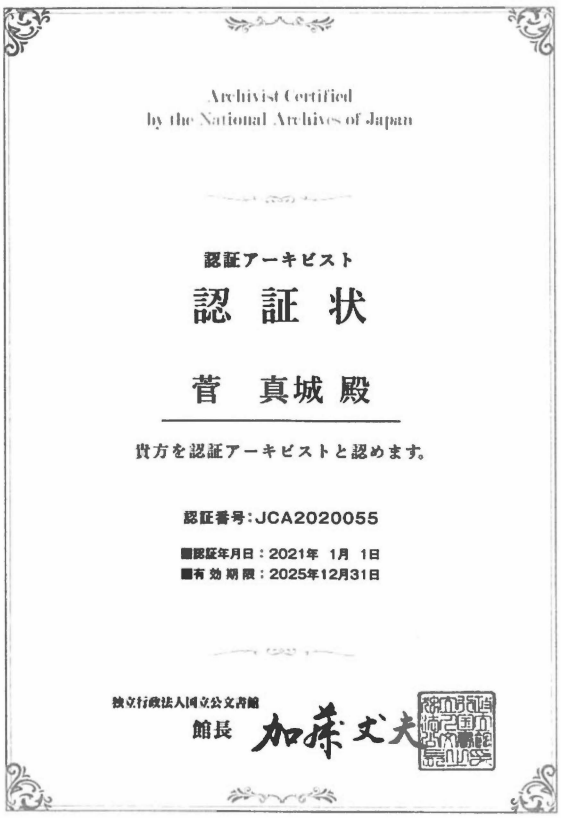
令和５年度

・中央大学大学院文学研究科アーキビスト養成プログラム
・筑波大学大学院人間総合学術院情報学位プログラム及び人文社会ビジネス学術院人文学学位プログラムです。

研修は、次の２つです。

・独立行政法人国立公文書館　アーカイブズ研修Ⅰ・同Ⅲ（計４週間）
・大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館　アーカイブズ・カレッジ（長期コース）

認証アーキビストに認証されると、次のスライドのような認証状が送付されてきます。これは私のものです。



Archivist Certified
by the National Archives of Japan

認証アーキビスト

認　証　状

菅　真城 殿

貴方を認証アーキビストと認めます。

認証番号：JCA2020055

認証年月日：2021年 1月 1日
有 効 期 限：2025年12月31日

独立行政法人国立公文書館
館長 加藤丈夫

次のスライドは、申請者・認証者数です。この表は、国立公文書館のウェブサイトで公開されています。現在までの総認証者数は、281人です。

実施回	年度	申請者数（人）	合格者数（人）	認証者数（人）
第１回	令和２年度	248	190	190
第２回	令和３年度	81	57	57
第３回	令和４年度	50	34	34
合計		379	281	281

では、このうち、大学アーカイブズの認証アーキビストは何人いるのでしょうか。それを示したのが、次のスライドです。この表の組織名と人数は、国立公文書館のウェブサイトで公開されている認証アーキビスト名簿から拾い出し、職階は私が調べました。

組織名	人数（人）	職階
東北大学学術資源研究公開センター史料館	2	准教授、協力研究員
筑波大学アーカイブズ	1	研究員
東京大学文書館	2	助教
大阪大学アーカイブズ	1	教授
神戸大学大学文書資料室	1	主任政策研究職員
広島大学文書館	2	准教授、専門職員
学習院アーカイブズ	1	専門職宅
自由学園資料室	1	
恵泉女学園史料室	1	
神奈川大学史料編纂室	1	
追手門学院大学学院志研究室	1	室員

また制度に戻りますが、「知識・技能等」を修得した者を「准認証アーキビスト」として国立公文書館長が認定する准認証アーキビストが、令和6年度認定開始の予定です。「准認証アーキビスト」取得見込みとしての就職活動を妨げないことになっています。

全国大学史資料協議会の研究会ですので、先の大学アーカイブズ別の表に戻って、大学アーカイブズにアーキビスト認証制度が及ぼしている影響について、私見を述べたいと思います。結論から言うと、認証アーキビストは大学アーキビストのインセンティブになっていないということです。この表を作るまで、認証アーキビストがいるのは国立大学中心だろうと思っていました。確かに国立大学中心ですが、私立大学の大学アーカイブズにも認証アーキビストはおられます。さらにいうと、国立大学アーカイブズでも認証アーキビストになっている者は任期制の者だけで、任期なしの教員は、認証アーキビストになっていません。

２．大阪大学の取組

大阪大学で行っている認証アーキビスト養成教育の名称は、「大阪大学アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コース」といいます。なぜ大阪大学でアーキビスト養成に取り組むようになったかというと、そのきっかけは大阪大学アーカイブズの課題を解決する上での学内事情によります。それと同時期に、国立公文書館によるアーキビスト認証制度が開始されました。そのため、大阪大学のコースも認証アーキビスト養成を目指すことになりました。その後、国立公文書館と協議を重ねました。認証アーキビスト養成教育として認定されるには、〈アーキビストの職務基準書〉をカバーするカリキュラムにすることが必要不可欠でした。

大阪大学のコースは、2021年度に開始しました。実施主体は　大阪大学アーカイブズで、アーカイブズ室長名の修了証を発行します。しかし、アーカイブズは教育部署ではないので、授業は開設できません。その

ため、人文学研究科、法学研究科、経済学研究科にご協力いただいていて、開講しています。2022年度からは、大阪大学独自の「大学院副専攻プログラム」に認定されました。このプログラムを修了すると、大阪大学総長名の修了証が発行されます。科目履修ですので、定員はありません。

カリキュラムをご説明します。必修科目6科目12単位が認証アーキビストの要件になっています。

次の表に、必修科目を示しています。

人文学研究科開講科目
アーカイブズ学講義＊
アーカイブズ・マネジメント論講義＊
アーカイブズ学演習＊
法学研究科開講科目
情報管理法＊
法政情報処理
著作権法

＊は本コースのために新設した科目

選択科目は、次のとおりです。

人文学研究科開講科目
日本近世史演習1
日本近世史演習2
日本古代史講義
日本中世史講義Ⅰ
日本中世史講義Ⅱ
日本近世史講義
日本近代史講義
法学研究科開講科目
日本法史
総合演習（定性的研究の理論と方法）
日本政治史
経済学研究科開講科目
日本経済史Ⅰ
日本経済史Ⅱ

＊隔年開講の科目もある。

このコースのために、テキストを作成しました。大阪大学アーカイブズ編　『アーカイブズとアーキビスト－記録を守り伝える担い手たち－』（大阪大学出版会、2021年）という本です。

大阪大学のコースの最大の特色は、大学院研究科でなく大学アーカイブズが実施主体となっている点です。そのため、授業開設は複数の研究科の協力を得ています。アーカイブズ学専攻ではありません。教員養成に例えるならば、教育学部でなくても教員免許を取得できるような、「開放型」のアーキビスト養成です。

受講生の感想としては、第1期生の秋田美奈さんの「アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コースを修了して感じるところ」（『大阪大学アーカイブズニューズレター』第20号、2022年）をお読みください。

本コースからは、認証アーキビスト1名が誕生しています。

今後の課題として、科目等履修生への対応が挙げられます。複数の研究科の授業科目から構成されているため、それぞれの研究科で入学手続きをしなければならないのです。非常に煩雑です。これを解決する方策として、大阪大学には「科目等履修生高度プログラム」というのがあります。これに採択されると、1つの手続きで複数の研究科の授業を履修できます。しかし、幹事部局には研究科しかなれません。どの研究科の事務部にも協力してもらえなかったので、実現できていません。また、社会人が科目等履修生として履修しやすい、夜間、土曜の開講には対応できていません。

さらに、アーカイブズ学を主専攻とすることはできません。これは、「開放型」「副専攻」の弱点でもあります。

認証アーキビストには、大学院等での「知識・技能等」の修得に加え、「実務経験」が求められます。そのため、東北大学では、東北大学大学院文学研究科認証アーキビスト養成コース修了生を東北大学史料館でアルバイトとして雇用し、「実務経験」を積ませています。大阪大学でも検討しましたが、大阪大学アーカイブズに配分される人件費の関係で、コース修了生のアルバイト雇用は実現できていません。

最後のスライドには、この講演に関係する講演者の既発表論考を掲示しています。

・菅真城「大阪大学におけるアーキビスト養成教育について」『記録と史料』第32号、2022年

・菅真城「大学アーカイブズによる教育活動―大阪大学の事例紹介―」『大阪大学アーカイブズニューズレター』第19号、2022年

・菅真城「大阪大学アーキビスト養成・アーカイブズ学研究コースの開始」『アーカイブズ』第84号、2022年

ご参照いただければ幸いです。ご清聴ありがとうございました。

【付記】

本稿は、研究会当日に投影・配付したPowerPointをもとに新たに書いたものです。研究会講演に際して読み上げ原稿は作成しておらず、録音を書き起こしたものではありません。研究会での発言をできるだけ再現するように留意しましたが、厳密には再現できておりません。ご寛恕ください。ただし、講演内容に加除は加えておりません。

研究会講演後、このテーマに関する下記の拙稿を公表し、また公表予定です。あわせてご参照ください。

・「アーキビスト認証制度と専門職問題・非正規職員問題」『阪大法学』第73巻第6号、2024年3月

・「大阪大学アーカイブズにおける認証アーキビスト養成教育－現状と課題－」『アーカイブズ学研究』第40号、2024年6月発行予定

※本稿は、JSPS科研費(課題番号20K01421)の成果の一部です。

全国大学史資料協議会西日本部会会報
第　40　号
（「西日本大学史担当者会会報」より通算第47号）
2024年5月21日発行

発行・全国大学史資料協議会西日本部会
編集・会報担当　桃山学院
桃山学院史料室
〒594-1198　大阪府和泉市まなび野1-1
Tel. 0725-92-7014